

W meets  
MK to U

門脇誠からアナタへ

コンディショニングを向上し、  
パフォーマンスを高める

スペシャルインタビュー





コンディショニング向上を目的としたア  
パレルウェア「M(ダブルリユール)へのア  
ドバイザーに就任した門脇誠選手へ、モ  
デル着用撮影時にインタビューをさせて  
いただきました。

2024年セ・リーグ優勝おめでとうござ  
いました。シーズン途中は苦しみながら  
もキャリアハイの数字を残した二年目の  
感想をお伺いできますか？

ありがとうございます。

レギュラーとしてシーズンをスタートしてキャンプから調子が良かったのですが、序盤甲子園で四安打してから、それ以降なかなか打撃での結果が出ず、それに伴う形で守備でも精彩を欠き、スタメン落ちしてしまいました。元々試合へ入る準備を大切にしている、特に打撃面では色々考えすぎてしまっていたかもしれないと思い、シンプルに来た球を打とうと心がけたことが立ち直るきっかけ

になっただと思っと思っています。改めてチャンスをもらった夏場以降でなんとか踏ん張って、チームも上向きだったこともあって自身の調子も上げていくことができました。

終盤は他チームとのゲーム差で、一勝一勝がとても大切な状況となり、どこか学生時代の野球の気持ちに戻れたことも良かったのかもしれない。

また、シーズンを通じて、巨人ベンチは先輩たちがやりやすい環境を整えてくだ

さっしていることがモチベーションをキープできた要因だったと思います。優勝できたことで多くのファンの方達や友人・家族、支えてくださったスタッフの皆さんに喜んでいただけで、本当に嬉しかったです。

プロ野球選手として二年間やってきて、コンディショニングについてはどうでしたか？

一年目は大学生活の延長の部分に加え、

プロとしての練習や環境の変化が大かつたですが、二年目の方が良くなってきた自覚はあります。痛くてできなとかもなかったですし。ただ、昨シーズンの後半は寝られないことも多かったですね。

寝着を変えたりもしました。コンディショニングについてアドバイスをいただいたことは取り入れるようにしています。

――

今回のコンディショニング向上を目的としたアンバサダーについても聞かせてく

ださい。

アパレルやコンディショニングについて  
はとても興味があるので非常に嬉しかっ  
たです。植物由来（サトウキビ）の繊維  
を使っていることで肌触りも非常に良く  
て、抗菌・防臭などの効果もあるこのこ  
となのでストレス無く着用できるとは  
良いことですね。素材の特性上、CO2削  
減にも繋がっているそうので、サステナビ  
リティ課題を解決する素材というのも魅





力的です。

※CO2排出量はポリエステルに比べ41%削減・水使用量はコットンに比べ90%削減

生地やシャツの形、デザインにも関わられた？・w

そうですね。生地は幾つか準備していた  
だいた中で抜群だと思ったものを選びました。  
少し大きめに着たいなと思っていた  
こともあったので形にも満足しています。

デザインについては昨年幾つかSNSでも注目していただいたジャンピンキヤッチをシルエットにして、「MKTOU」と題して「門脇誠からあなたに」というメッセージも入れ込んでいます。背中には「誠」の文字と、2025年のテーマである「壊」を自筆で書いたものをデザインしました。

出来上がりを見ての感想はいかがですか？

着心地が抜群で非常にリラックスできそ  
うです。デザインも気に入っているし、  
（今回はサンプル品のため）早く通常で  
着用していきたいです。コンデイション  
ングアップの要素が強いことが嬉しいです。

この商品の発売日が実は一月二十四日と  
いうことで。

誕生日ですね。制作が始まったのがシー  
ズンオフでの作業だったということも

**W** meets



*W to U*

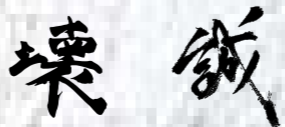
あって、発売日はたまたまそのあたり  
だったということ（笑）

最後に2025年シーズンの抱負をお聞か  
せください。

ー  
ー  
去年はリーグ優勝はできませんでした  
が日本一の目標には届きませんでした。

今年はずいぶん通じてチームのため  
に活躍して、

皆で日本一の景色を見たいと思  
います！





## 最後に

2025年1月、自主トレの合間を縫って、都内スタジオにてモデル撮影を敢行。先に撮影を済ませたキッズモデル（学童野球所属）と談笑しながら終始リラックスした様子。

コンディショニングを向上しパフォーマンスを上げるためのプロダクト「W meets “MKtoU”」。今シーズンの目標である日本一へ向けて熱い想いを語ってもらいました。

インタビュー終了後、「次回は”香水”とか作ってみたいなあ」と・・・。

お楽しみに！！



**model : Makoto Kadowaki**

**Rin Kodama**

**Riku Tashima**

**interview : Hayato Minami(Gifut)**

**hair make : Yuko Kojima**

**camera : Taku Fujii**

**ecommerce : Koji Kodama(SimpCo)**

**management : Toshimitsu Kadowaki**

**director : Keita Takeuchi(ON THE WAY)**

**thanks : PlaX™(bioworks)**

